

第201回 全経簿記検定試験 上級 一原価計算一

模範解答

模範解答・予想配点・解説等は、学校法人高橋学園が独自の見解によって作成しており、検定試験実施機関における本試験の解答並びに出題の意図を保証するものではありません。なお、予告なしにその内容を変更する場合がございます。ご理解いただいたうえで、ご利用ください。

問題1〔予想配点：丸数字は点数を示す、合計62点〕

問1

配賦率〔 ⑤ 320 〕円/時

	製品A	製品B	製品C
単位当たり配賦原価	② 1,600 円	② 2,560 円	② 2,240 円

問2

	製品A	製品B	製品C
単位当たり配賦原価	② 21,600 円	② 416 円	② 2,528 円

問3

〔 ⑤ 76,800 〕分

問4

〔 ⑤ 50 〕円/分

問5

段取	② 2,000 円/回
マテハン	② 750 円/回
検査	② 3,000 円/回

問6

	製品A	製品B	製品C	計
段取	② 360,000 円	② 20,000 円	② 100,000 円	480,000 円
マテハン	② 1,500,000 円	② 375,000 円	② 1,125,000 円	3,000,000 円
検査	② 75,000 円	② 15,000 円	② 30,000 円	120,000 円
合計	1,935,000 円	410,000 円	1,255,000 円	3,600,000 円

問7

	製品A	製品B	製品C
単位当たり配賦原価	② 19,350 円	② 410 円	② 2,510 円

問8

[ ⑤ 240,000 ] 円

問題2 [予想配点：丸数字は点数を示す、合計38点]

問1

製品の組み合わせ

製品A	製品B	製品C
② 800 個	② 2,000 個	② 400 個

利益額 [ ⑤ 75,600 ] 円

問2

加重平均貢献利益率 [ ③ 21.6 ] %

損益分岐点売上高 [ ③ 2,150,000 ] 円

安全余裕率 [ ③ 14 ] %

問3

利益が最大となる製品組み合わせは、製品Xが ( ① 800 ) 個、製品Yが ( ① 1,600 ) 個、製品Zが ( ① 1,000 ) 個であり、その時の全体の利益は ( ③ 105,600 ) 円である、当初の利益より ( ③ 30,000 ) 円利益が ( 増加・減少 ) \* するので、この固定費の追加は ( 行うべきである・行うべきではない ) \*。

\* は該当するものに○をすること。

(※) 金額箇所の解答については\*まで含めて正解とする。

問4

利益が最大となる製品組み合わせは、製品Xが ( ① 800 ) 個、製品Yが ( ① 2,000 ) 個、製品Zが ( ① 400 ) 個であり、その時の全体の利益は ( ③ 55,600 ) 円である、当初の利益より ( ③ 20,000 ) 円利益が ( 増加・減少 ) \* するので、この固定費の追加は ( 行うべきである・行うべきではない ) \*。

\* は該当するものに○をすること。

(※) 金額箇所の解答については\*まで含めて正解とする。